



## 創立60周年記念祝典開催 ..... 2・3

5月25日、来賓・会員あわせて260名余のご出席を得て、弊会創立60周年記念祝典を開催。式典では、池森近畿経済産業局長、山下京都府副知事、門川京都市長、立石京都商工会議所会頭より祝辞を頂戴し、更に功労役員、永年勤続職員に各々感謝状、表彰状の贈呈がなされました。祝宴では鏡開き等が行われ、盛況裡に閉会しました。



## 第49回通常総会開催 ..... 4

5月25日、会員150名余のご出席を得て、第49回通常総会を開催しました。

## 第50期（平成29年度）事業計画大綱 ..... 5

## 会員企業優秀従業員定例表彰 ..... 6

5月16日、京都工業会館にて表彰式を挙行。  
会員企業より推薦された57氏（43社）が優秀従業員として表彰されました。



## 会員企業トップにインタビュー ..... 7



第9回目は、マルホ発條工業(株)（京都市下京区）に今井良平社長を訪問。  
社長就任を機に着手された実践的な大変革、『組織・風土・運営のReborn』  
についてお話を伺いました。

◀ 今井良平社長

## 京都工業クラブ開催 ..... 8

- 「内外経済の動向と金融政策運営」
- 「VRを活用したモノ作りの可能性」
- 「東アジア経済の今後の見通しについて  
～中華圏を中心に～」

## 白鷺クラブ活動報告 ..... 8

4月6日、29年度定期総会を開催しました。

## 業務革新研究会活動スタート ..... 9

弊会基幹事業の1つである業務革新研究会（8研究会）が4月27日総合オリエンテーションを開催し、今年度の活動をスタートしました。

研究会活動内容も随時紹介。

今回は、生産革新研究会：TPM改善部会と品質革新研究会をご紹介します。

## 褒章の栄 ..... 10

## 新入会員ご紹介 ..... 10

## ゴルフ同好会（K I G）活動報告 ..... 10

## 働き方改革の推進について ..... 11

国の最重点課題に位置付けられている「働き方改革」の要諦について、京都労働局の高井局長よりわかりやすく解説を頂きました。

## 女性活躍推進企業事例紹介（第5回） ..... 12

モノづくり企業で活躍する女性管理職と候補者をメンバーとする「女性活躍推進懇話会」（旧・「女性の会」）会員の中から、先進的な取り組みを実践しておられる企業をご紹介します。今回は、(株)SCREENホールディングスの事例をご紹介します。

# 京都工業会創立60周年記念祝典を挙行

## 記念式典



■開会の辞 武田 一平  
京都工業会副会長



■式辞 依田 誠  
京都工業会会長



■祝辞 近畿経済産業局  
池森 啓雄局長



■祝辞 京都府  
山下 晃正副知事



■祝辞 京都市  
門川 大作市長



■祝辞 京都商工会議所  
立石 義雄会頭



■感謝状贈呈 特別功労者代表  
矢嶋 英敏京都工業会顧問・元会長



■感謝状贈呈 功労者代表  
富田 泰博京都工業会元副会長



■事務局職員永年勤続表彰代表  
宮田 哲也



■閉会の辞 錦織 隆  
京都工業会副会長

### <開催概要>

平成29年5月25日午後4時より、本会創立60周年記念祝典が、関係官公庁、経済諸団体、学界等からの多数のご来賓各位そして多くの会員、計260名余が出席し、リーガロイヤルホテル京都において挙行された。

式典は、武田副会長の開会の辞に続き、依田会長が式辞を述べた後、池森啓雄近畿経済産業局長をはじめ、山下晃正京都府副知事、門川大作京都市長、立石義雄京都商工会議所会頭より祝辞を頂戴した。更に功労役員、永年勤続職員に各々感謝状、表彰状の贈呈がなされ、錦織副会長の閉会の辞で式典を終えた。

式典後は祝宴に移り、立石副会長の開会挨拶に続き、鏡開きの後、寿栄松憲昭顧問の発声により乾杯。続いて上七軒歌舞会の芸妓による祝舞「末広狩」の披露、また舞妓による「北野小唄」の舞があり、参加者一同大いに盛り上がり歓談した。最後に、片岡副会長の閉会挨拶をもって、盛会のうちに同祝典を終えた。



## ～ 70周年に向けて、更なる飛躍を～

5/25

## 記念祝宴



■開会挨拶 立石 文雄  
京都工業会副会長



■乾杯 寿栄松 憲昭  
京都工業会顧問・元会長



■祝舞「末広狩」



■舞妓による「北野小唄」



■閉会挨拶 片岡 宏二  
京都工業会副会長

## 会長式辞

昭和32年、京都の中堅・中小の機械金属企業が相集い、未来への発展を念じて京都府機械金属工業連合会として設立されたことに始まり、以来60年間にわたり、時代の変化に対応しつつ、会員企業の発展と地域産業の振興を目的として諸事業を推進してまいりました。特に、経営や技術の様々な分野において、モノづくり産業を支える優れた人材を育成していくことを、中核的な事業として一貫して取り組んできたところであります。

この60年を振り返りますと、昭和43年に会員の募金により京都工業会館を完成させ、名称を京都工業会に変更、昭和62年には、設立以来実施してきた従業員の研修事業を創立30周年を機に体系化し「京都高等技経学院」として充実強化を図りました。平成元年からは海外産業視察団を派遣、平成14年からは産学公連携フォーラムを開催、平成19年にはKES環境機構の設立に寄与するなど、国際化や技術革新、環境経営の流れにも積極的に対応してまいりました。平成24年には公益社団法人に改め、平成26年からは金融機関や大学にも特別会員として入会頂き、より公益的、総合的に活動する経済団体として今に至っております。

60年前の創立時とは経営を取り巻く環境は大きく変化しており、モノづくりについてもIT技術の進歩により人工知能が飛躍的に発達し、IoT化が急速に進むなど根本から変革が進む時代に遭遇しております。経営のグローバル化、企業体質改善、地球環境への配慮等の諸課題に加え、少子高齢化や労働力不足、働き方改革への対応が求められるなど、新しい取り組みテーマが次々と出現しております。このような時代を切り拓いていくため、本会は引き続き「京都からモノづくりイノベーション」という基本理念のもと、モノづくりの永遠のテーマである技術の向上に重点をおき、未来に向けた変革のリーダーと優れた技術者の育成をはじめ、企業経営に役立つ様々な事業の実施を通じて「具体的な成果を実感できる工業会活動」を実現し、会員企業の経営力の向上と地元産業界の活性化に貢献してまいりたいと考えております。

2年後には、京都経済百年の計であり、産業振興の総合拠点となる「京都経済センター」が完成します。京都工業会もその一員として、皆様方と力を合わせて、交流と融合による新たな価値の創造を目指していききたいと思います。今後とも、皆様方の一層のご指導とご協力を切にお願い申し上げますとともに、ご来賓をはじめ、ご出席の皆様の更なるご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

## 第49回 通常総会を開催

5/25

5月25日（木）、リーガロイヤルホテル京都において第49回通常総会が、会員約140名の出席を得て盛大に開催された。

依田 誠会長が開会挨拶を行った後、議長に選任され、議事に入った。

当日の議案は次の通り。

第1号議案：第49期事業報告及び決算の承認の件  
〈平成28年4月1日～平成29年3月31日〉

第2号議案：役員を選任の件

第3号議案：常勤の理事の年間報酬総額決定の件

第1号議案については、まず有馬専務理事が事業報告全般及び収支決算について説明。続いて、総務委員会・坂本文明委員長、企画委員会・広岡義雄委員長、技術・教育委員会・洲崎智之委員長、中堅企業委員会・尾池均委員長、中小企業委員会・岡本光三委員長、環境委員会・藤岡秀治委員長、広報委員会・山下文男委員長より、各委員会の開催した事業について報告が行われた。加えて今年度は、企業における女性活躍推進について研究・検討している「女性の会」のメンバーである（株）SCREENホールディングス・岩本花子氏、トクデン（株）・新田亜耶氏より、同会の活動報告と女性活躍推進に向けた経営トップへのメッセージが述べられた。続いて監事4名を代表して澤田守成監事から会計監査の報告がなされ、満場一致で原案通り承認された。

第2号議案については、その選任方法について諮ったところ議長一任ということで承認され、理事5名を役員候補者として提案、全員異議なく承認された。

第3号議案については、専務理事が常勤の理事の年間報酬総額決定について説明し、全員異議なく原案通り承認し、以上をもって滞りなく全議案の審議を終えた。

続いて報告事項として



(1) 第50期事業計画及び収支予算の報告の件  
〈平成29年4月1日～平成30年3月31日〉

(2) 京都経済センター（仮称）に関する件  
について専務理事が説明を行った。

以上をもって総会議事は終了し、別室にて役付理事選定理事会を開催、常任理事4名を選定した。

《新役員》（役職は総会当時、敬称略）

常任理事 大下 実（株）イシダ 執行役員）

山口 悟郎（京セラ（株） 会長）

廣地 厚（ゲンゼ（株） 社長）

二ノ宮秀明（ニチユ三菱フォークリフト（株） 社長）

理 事 馬場 英寿（日本たばこ産業（株）関西工場 理事 工場長）

理事会終了後は総会の部屋に戻り、春の褒章にて黄綬褒章をご受章された、（株）積進 田中隆司社長にお祝いの品を贈呈。更に本年1月の新春交歓会以降に入会された新入会員（亀岡電子（株）、（株）聖護院ハツ橋総本店、大成建設（株）京都支店、近畿日本ツーリスト（株）京都支店、学校法人京都橘学園）の紹介を行い、盛大な拍手が送られ、以上をもって第49回総会を閉会した。



女性の会 活動報告



新入会員紹介



# 平成29年度（第50期）事業計画大綱

平成29年4月1日～平成30年3月31日

## ★1 創立60周年記念事業の実施

- 1) 記念式典・祝宴の開催（5月25日）
- 2) 記念誌の発行（12月発行）
- 3) 記念講演会の開催（12月開催）

## 2 会の組織強化と会員相互の交流促進

- 1) 総会、理事会、正副会長会議等の開催 ……随時
- 2) 委員会活動の推進 ……随時
- 3) 広報・会員サービス活動の実施 ……随時
- 4) 会員の拡大 ……年間
- 5) 京都工業クラブの開催 ……12回/年
- 6) 新春交歓会の開催 ……定例
- 7) 鳶の会、白鷺クラブ、ゴルフ同好会（KIG）の運営開催 ……随時

## 3 経営・業務革新の促進と人材育成

- 1) 大会・セミナー・視察・見学 ……随時
  - ア. 第20回 京都KAIZEN大会の開催 ……1回/年
  - イ. 第12回 京都TQMフォーラムの開催 ……1回/年
  - ウ. 購買管理特別講演会の開催 ……3回/年
  - エ. 経営革新セミナーの実施 ……随時
- ★オ. ISO9001・ISO14001内部監査員養成セミナーの開催 ……随時
- カ. 他府県産業視察 ……1回/年
- キ. 生産革新工場見学会の開催 ……4回/年
- ク. 課題対応型セミナー ……随時

★・働き方改革推進セミナーの開催 ……随時

★・危機管理セミナーの開催 ……随時

★・モノづくりモチベーションアップセミナーの開催 ……1回/年

★・VEで実現する「利益を生み出す企業体質への変革セミナー」の開催 ……随時

- 2) 経営管理懇話会（管理者対象） ……随時
  - ア. R&D問題懇話会の開催 ……6回/年
  - イ. 生産問題懇話会の開催 ……7回/年
  - ウ. 購買・資材問題懇話会の開催 ……7回/年
  - エ. 人事労務問題懇話会の開催 ……6回/年
  - オ. 経理問題懇話会の開催 ……6回/年
  - カ. 監査部門懇話会の開催 ……6回/年
  - キ. 品質保証懇話会の開催 ……6回/年
  - ク. 経営企画戦略会議21の開催 ……8回/年
- ★ケ. 女性活躍推進懇話会の強化 ……4回/年

## 3) 業務革新研究会（中堅実務者対象） ……随時

- ア. 品質革新研究会の開催 ……10回/年
- イ. 生産管理（TOC）研究会の開催 ……10回/年
- ウ. 購買調達革新研究会の開催 ……10回/年
- エ. VE（開発設計革新）研究会の開催 ……10回/年
- オ. 生産革新研究会:基礎IE部会の開催 ……10回/年
- カ. 生産革新研究会:JIT改善部会の開催 ……10回/年
- キ. 生産革新研究会:TPM改善部会の開催 ……10回/年
- ク. 生産現場リーダー力強化研究会の開催 ……10回/年

★ケ. 良いモノづくりの為の女性の会の強化 ……5回/年

## 4) 特定分野研究会 等 ……随時

- ア. 知的財産権研究会の開催 ……随時
- イ. 情報通信懇話会の開催 ……随時
- ウ. テクノロジー&マネジメント研究会の開催 ……14回/年
- エ. 生産革新（TPS）徹底実践研究会の開催 ……随時
- オ. グローバルQCD研究会の開催 ……随時
- カ. モノづくり革新道場の充実及び特別合宿研修

会の開催 ……6回/年

キ. 新入社員等若手社員を対象とする「モノづくりベーシック講座」の充実開催 ……随時

★ク. IoT研究会の開催 ……5回/年

★ケ. AI研究会の開催 ……3回/年

★5) 女性の活躍による企業活力強化支援 ……随時

6) 京都高等技術・経営学院（若手技術者対象） ……随時

ア. 研究科：電子システム研究科

メカトロニクス研究科

イ. 本科：機械設計課程、機械製図課程

技術スクール（機械加工技術コース）

管理スクール（生産管理コース、現場

改善コース、コストダウンコース、

FMEA・FTAコース、3S／5S構築コース）

## 4 産学公連携の強化と新産業・新事業創出

★1) 京都産学公連携フォーラムの開催 ……1回/年

2) 京都産学公連携機構との連携 ……年間

3) 京都産学育成コンソーシアムとの連携 ……年間

4) 産学連携マッチング交流会の開催 ……随時

## 5 経営グローバル化の推進

1) 海外産業視察団の派遣 ……1回/年

2) 「京都海外ビジネスセミナー」の共同開催 ……1回/年

3) ジェトロ京都貿易投資情報センターとの連携 ……随時

4) 海外経済団体との交流 ……随時

## 6 中堅・中小企業の振興

1) 生産革新工場見学会の開催（再掲） ……4回/年

2) 中小企業見学会の開催 ……6回/年

3) 中小企業技術幹部交流会の開催 ……6回/年

## 7 地球環境の保全と環境経営の推進

1) 京都環境管理研究会の開催 ……7回/年

2) 労働安全衛生研究懇話会の開催 ……7回/年

3) 環境マネジメントシステム（ISO14001及びKES）の推進 ……年間

4) 環境及び労働安全衛生関連課題の動向調査と研究 ……年間

5) 京都工業会館内環境関連3団体との協働 ……年間

6) 環境問題に関する講演・セミナーの開催（京都経済4団体共同事業） ……1回/年

## 8 京都経済センター（仮称）移転に向けた取り組み

1) 京都経済センター建設委員会による推進 ……随時

2) 移転に係る財政的検討 ……随時

3) 工業会スペースの整備に関する検討 ……随時

★4) 移転後における事業運営に関する調査・検討 ……随時

## 9 地域産業の活性化

1) 国・京都府・京都市等関係行政機関との情報交換と協調 ……随時

2) 京都経済団体協議会との協調 ……随時

3) 府内・外関係経済団体との協調 ……随時

4) 京都産学公連携機構との連携（再掲） ……随時

5) 京都産学育成コンソーシアムとの連携（再掲） ……随時

6) 環境関連3団体との協調（再掲） ……随時

7) 青少年と科学の会への支援及び京のエジソンプログラムの推進 ……随時

8) 北部地域産業界との連携 ……随時

9) 要望活動 ……随時

## 10 京都工業会館の円滑な運営と有効活用

★ 新規事業、★ 重点事業

# 平成29年度 会員企業優秀従業員定例表彰 ～57氏を表彰～

5/16

5月16日（火）午後、平成29年度優秀従業員定例表彰が、京都工業会館にて行われた。

まず、依田 誠会長より式辞が述べられた後、受賞者全員の名前が読み上げられ、そして受賞者57氏（43社）を代表して、宮本浩次氏（星和電機㈱）へ依田会長から表彰状と記念品が授与された。

続いて、来賓の京都府商工労働観光部長 児島宏尚氏、京都市産業観光局長 上田 誠氏より祝辞をいただいた後、受賞者代表として松村一郎氏（㈱井筒八ッ橋本舗）が謝辞を述べた。そして最後に、本会正副会長、来賓各位とともに記念撮影を行い、同表彰式を終えた。



## 〈受賞者名〉

（以下敬称略）

㈱ イ シ ダ 田村 淳司	三和研磨工業㈱ 中谷 明広	ニ チ コ ン ㈱ 別所 毅一
㈱ イ シ ダ 宮脇 久登	㈱ G S ュ ア サ 深野 実	ニチコン亀岡㈱ 松浦 康行
㈱井筒八ッ橋本舗 松村 一郎	島津エンジニアリング㈱ 平山 賢士	ニチユ三菱フォークリフト㈱ 森 郁夫
尾池工業㈱ 小山 和人	島津システムソリューションズ㈱ 平岩 京一郎	㈱日進製作所 糸井 智恵
大阪ガス㈱リビング事業部 後藤 幸喜	㈱島津製作所 井上 由里	㈱日進製作所 田邊 邦裕
大阪ガス㈱エネルギー事業部 坂 秀彰	㈱島津製作所 原田 淳子	日新電機㈱ 後藤 優次
㈱ カ シ フ ジ 艾 強	須河車体㈱ 西杵比野 清	日新電機㈱ 正岡 孝
㈱片岡製作所 草木 敏行	菅原精機㈱ 森田 剛至	福田金属箔粉工業㈱ 石原 健二
㈱関西電業社 松田 慎次	星和電機㈱ 宮本 浩次	福田金属箔粉工業㈱ 高木 智哉
㈱菊水製作所 松本 修	太平工業㈱ 高間 洋一	㈱平安製作所 佐野 安博
京 セ ラ ㈱ 東田 充弘	太陽機械工業㈱ 今井 英夫	㈱堀場製作所 中嶋 嘉之
京 セ ラ ㈱ 松嶋 創	太陽精機㈱ 大野 功湖	三菱自動車工業㈱京都製作所 森 裕之
京都機械工具㈱ 桐山 香	太陽精機㈱ 八木 昌美	三菱自動車工業㈱京都製作所 横路 昭
クロイ電機㈱ 林 伸昭	㈱大日本科研 鈴木 元	㈱宮木電機製作所 山下 博也
月桂冠㈱ 向井 英彦	T O W A ㈱ 金丸 浩之	村田機械㈱ 井戸 健一
㈱ 工 進 高田 仁	T O W A ㈱ 田村 孝司	村田機械㈱ 佐藤 元彦
サンコー ㈱ 飛田 朋宏	㈱藤堂製作所 梅本 春美	メテック㈱ 池畑 一富
サンコー ㈱ 力月 浩	㈱富永製作所 田村 修	㈱ユーシン精機 志知 隆
三和化工㈱ 小原 長二	㈱ ナ ベ ル 安田 健治	㈱ユーシン精機 船長 信幸

## ■会員企業トップにインタビュー 〈9〉

## 「技術創造型企業」をめざして

マルホ発條工業(株) プロフィール  
 各種ばね、自動包装機、錠剤検査機、  
 医療用等先端部品  
 資本金：9,360万円 従業員：261名  
 京都市下京区中堂寺南町134  
 京都リサーチパーク1号館4階  
 Tel.075-312-1661

## マルホ発條工業(株)

社長 今井良平氏

## ― 会社創業以来の歩み

- 1952年 (株)マルホ商店（現・マルホ(株)）内に発條部として大阪市内にて創業
- 1965年 亀岡市内に亀岡工場を新設。生産量急増
- 1977年 医療用具製造許可認定（厚生大臣）
- 2007年 南丹市に新光悦工場を新設。稼働開始
- 2010年 京都府中小企業技術大賞受賞
- 2013年 マルホ(株)の子会社となる
- 2014年 本社事務所を現在地に移転
- 2016年 MHT社建設（マルホ発條タイランド(株)）

## ― 創業の経緯と現在の事業内容についてお聞きます。

医薬品メーカーのマルホ商店（現・マルホ(株)）の発條部として発足し、2年後に高木二郎名誉会長がマルホ発條工業を設立しました。60年代に入り、制御機器用のばねの納入を開始したのが飛躍の契機となり、65年に亀岡工場を建設して大量生産を始めました。以来品質革新等の努力を重ね、ばねやコイルの生産で確固とした地位を築くことができました。現在の年間売上は約70億円ですが、その内訳としてばねが約40億円、自動包装機関係が約20億円、そして今後の成長分野として期待している医療用先端部品関係が約10億円となっています。

## ― 「Reborn」の中味と成果についてお聞かせ下さい。

2013年に社長に就任したのを機に、我が社が今後成長を持続していくために必要な大変革に着手しました。

「組織・風土・運営」のRebornがこれです。とりあえず60期は「成長への変革」として、社是・経営理念以外は見直しを実施し、これを受けて61期・62期は「成長への改革」として具体的取り組みを行いました。

## 風土のReborn－これまでにできた事

1. 公明正大・オープンな社風  
社内は「さん」付け、評価制度の明確化
2. 自由闊達・ワイガヤで結論  
結論、デッドライン、やる人を決める会議
3. すぐやる・今やる

## 経営のReborn－これまでにできた事

1. 会社の進むべき方向を示す  
事業部制の導入・月次決算
2. 働いていて楽しい会社づくり
3. 頑張った人が報われる仕組み



▲同社 亀岡工場

## 経営のReborn－これまでに実施した施策

1. 執行責任者会議  
毎週金曜日 意思決定・全社指示のPDCA  
⇒170回実施し、議事録公表
2. 部門別採算・事業部制  
各部門責任者以下全員意識を変える（経営マインド）
3. 月次工場巡回  
月1回社長が巡回し、定期的な現場改善確認

64期（今期）の基本方針は「2桁成長の実現」を掲げているものの残念ながら実現していません。2桁成長への成長分野は機械事業では6,000錠機の受注・拡販と米販社MHI（マルホ発條イノベーションズ）経由での北米事業の立ち上げ、先端部品事業ではGMP対応医療機器生産ラインの完成、MHI経由での北米向け案件のフォローアップ、そしてばね事業ではプレス技術の拡大による新規商品トライアル、CWS、楕円ばね、ゼンマイばねの展開、これらに全力を注入して取り組んで目標を達成していきたいと思っています。

## ― 人材の育成についてお考えを聞かせて下さい。

中小企業にとっては大変難しいことですが、とても大事なテーマです。新入社員教育としては3ヶ月間全部門を回らせて、その後に適正配置しています。そして2年間社長への手紙を出すことを義務づけており、私もこれに返信することで有意義な意思疎通をはかっています。日毎に社員のレベル向上を実感できることが楽しみです。

京都工業会の人材育成セミナーは中小企業1社ではできない具体的な高レベル内容であり、従来も参加してきましたが、今後ともお世話になりたいと思っています。



## 第601回 京都工業クラブ

4/21

### 「内外経済の動向と金融政策運営」

日本銀行 京都支店長  
植木 修康氏

昨年12月に着任された植木日本銀行京都支店長を講師に迎え、わが国の今後の金融政策や景気動向等についてお話をいただいた。

講演ではまず世界経済全体の動きと米国・EU・イギリス・中国・ロシア各々の状況を説明、更に世界経済上のリスク等を述べられた。続いて日本経済の動向と日本銀行が行っている金融政策の解説、そして京滋の景気動向について詳細なデータを基に回復基調を続けていることが説明され、今後の経済・景気見通しについて大変参考となるお話を伺うことができた。



## 第602回 京都工業クラブ

5/15

### 「VR（バーチャルリアリティ）を活用したモノ作りの可能性」

SCSK(株) プラットフォームソリューション事業部門  
製造エンジニアリング事業本部VRシステム推進室第二課長  
岸元 睦氏

VR技術の進歩が目覚ましく、製品設計や製造プロセスといったエンジニアリングにVRを活かす方法に関心が高まっていることから、SCSK株式会社VRシステム推進室の岸元課長を講師に迎え、お話をいただいた。

2016年はVR元年と言われており、講演ではその最新技術や今後の市場予測、そしてフォードやアウディ等自動車メーカーにおけるVR活用の様子等が紹介された。最後は参加者一同実際にVRを体験、最新技術に触れ、これからのモノづくりを考える有益な機会となった。



## 第603回 京都工業クラブ

6/30

### 「東アジア経済の今後の見通しについて ～中華圏を中心に～」

日本経済新聞社 編集局企業報道部 シニアエディター  
(前中国総局長) 山田 周平氏

「一帯一路」構想に邁進する中国をはじめ、北朝鮮・韓国等東アジア地域の動向が注目されることから、日本経済新聞社の前中国総局長である山田シニアエディターをお迎えし、お話をいただいた。

講演では、まず中国経済の動向やリスク要因、今後の見通し、そして中・韓・北朝鮮関係や中台経済の解説がなされた。日中関係については「対中投資意欲は減退しているものの、外交の最悪期は脱している。東アジア経済での中国の存在感は圧倒的であり、日本企業は中国を中心に東アジアビジネスを組み立てていかざるを得ないだろう。」と述べられた。



## 白鷺クラブ 活動レポート

4月6日(木)

### 平成29年度定期総会を開催

4月6日夕、鳶の会（白鷺クラブOB会）・白鷺クラブの平成29年度定期総会が、両会員37名が出席し、東山区の「翠雲苑」において開催された。

丸山代表幹事が開会挨拶を行った後、平成28年度の活動報告、平成29年度の役員を選任、そして同年度の事業計画について活発な討議を行い、全ての議案について満場一致で承認された。

今年度の他府県視察研修先としては、11月9日、10日の両日、西日本の生産拠点として全国有数の工業県に発展した山口県の主要企業、地場産業や産業施設を訪ねることにしている。

#### 〈平成29年度役員〉



代表幹事：  
片岡 宏也 君  
(片岡製作所・取締役)



代表幹事：  
田中 安隆 君  
(積進・専務取締役)

幹 事：丸山 栄三 君(丸山製作所・社長)  
〃：井畑 忠 君(清弘エンジニアリング・社長)  
〃：西嶋亜紀彦 君(西嶋製作所・社長)

#### 入会のご案内

### 白鷺クラブ

—企業後継者の研鑽・交流の場—

入会対象：本会会員企業経営者の二世、及び青年経済人。役職等は問いません。

運 営：代表幹事を中心にメンバーの自主的運営を基本とし、メンバー間の人的ネットワークの構築、研修に重点を置いて進めます。

定 例 会：原則として毎月1回（第2木曜）開催します。

時間⇒18:00～20:00（京都工業会館）

※工場見学等、外部訪問は昼間開催

入会申込先：本会事務局  
(お問合せ) TEL. 075-313-0751



# 平成29年度 業務革新研究会(8研究会)を総勢217名で発足、活動開始

～総合オリエンテーション（4/27）を経て、5月例会を開催～

## 総合オリエンテーション

4月27日、正午から「技術・教育委員会と各研究会の正副主査との懇談会」を開催、研究会の運営方法や正副主査の役割などについて、意見を交換した。

その後、13時30分より京都工業会館に総勢217名が一堂に会し、総合オリエンテーションを開催した。

冒頭、技術・教育委員会 副委員長 成平幸弘氏（星和電機㈱）執行役員 コンポーネント事業部 製造部長）が、「他社事例やアドバイザーの講義、演習、実習などから各自の業務革新能力を磨き、改善活動の新たなヒントを持ち帰って欲しい」と挨拶された。

続いて、研究会活動を行う上での基本事項を確認後、当研究会事業のOBでもある島津プレジジョンテクノロジー㈱ 生産技術部 副部長 石原 巧氏より「今、モノ作りに求められること」と題して講演が行われた。

終了後、8研究会はそれぞれに分れて、自己紹介及び年度方針の検討を行った。



総合オリエンテーション

## 5月例会を順次開催

総合オリエンテーションにおいて発足した各研究会は、GW明けから順次5月例会をスタートし、各アドバイザーを迎え、それぞれ基調講演やそれに基づく活発な討議等が行われた。以下、主な活動概要を紹介する。

### 【生産革新研究会：TPM改善部会】（5月26日）

設備管理の在り方に着目し、不良ゼロ故障ゼロなど、あらゆるロス、ムダを削減し、生産システムを最大限に引き出すための設備保全のあり方を工場見学や実践活動を通して研究している「生産革新研究会：TPM改善部会」では、アドバイザー高橋文彦氏（㈱高橋事務所 代表取締役）から、生産効率と生産のしくみ、工場の見方等について基調講演を受けた。

◇生産効率と生産のしくみ

○生産効率

生産効率は物流→スルーな生産、問題の見える化  
これを第一としない管理が「見かけの原価」の始まり

○生産のしくみ

生産＝作り方＋流し方

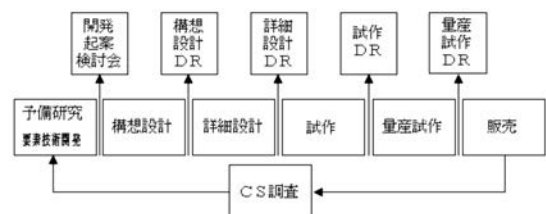
作り方：加工技術（開発・生産技術）

流し方：量産管理技術（製造・生産管理）

### 【品質革新研究会】（6月27日）

企画、開発段階から最終検査までの品質を各種手法や工場見学を通しグローバル市場競争から勝ちぬくための魅力ある品質造りを研究している「品質革新研究会」では、アドバイザー高山直彦氏（㈱島津製作所 分析計測事業部副参事）から信頼性七つ道具、Design Review (DR)、問題点解析等、設計品質／問題探索の考え方について演習を通して講義を受けた。

◇製品開発におけるDesign Review（設計審査・DR）



## 〈各研究会の正副主査名〉（敬称略）

NO	研究会名	正副主査名・社名
1	品質革新 (35名)	影山 貴浩（㈱SCREENセミコンダクターソリューションズ） 平田 満（㈱ 工 進） 小原正幹（㈱ ニ チ ダ イ）
2	生産管理 (29名)	岸本大生（㈱ 島 津 製 作 所） 河田文治（コ フ ロ ッ ク ㈱） 山村星史（星 和 電 機 ㈱）
3	購買調達革新 (15名)	吉田一弘（尾 池 工 業 ㈱） 本田貴之（㈱ 島 津 製 作 所） 中島 諒（ニ チ コ ン 草 津 ㈱）
4	V E (25名)	藤田晃平（㈱ G S ユ ア サ） 上原敏昭（㈱ イ シ ダ） 山内寛明（㈱ 富 永 製 作 所）
5	生産革新：基礎IE部会 (39名)	土井一正（日本アイ・ティ・エ㈱） 前川 守（尾池アドバンスフィルム㈱） 大釜陸哉（㈱ 堀 場 製 作 所）
6	生産革新：JIT改善部会 (20名)	中村勝弘（ユニキャリア㈱） 西村 嶺（㈱SCREENセミコンダクターソリューションズ） 仲田和貴（ニ ン バ リ ㈱）
7	生産革新：TPM改善部会 (16名)	高野 究（㈱ 島 津 製 作 所） 細川敬弘（ナ ル ッ ク ス ㈱） 長 信夫（ニチユ三菱フォークリフト㈱）
8	生産現場リーダー力強化 (38名)	萩野 匡（マルホ発條工業㈱） 村田奨吾（星 和 電 機 ㈱） 北村憲嗣（双 和 電 機 ㈱）

## 黄綬褒章御受章の栄



田中 隆 司 氏

( 株積進 社長 )

会員の皆様とともに、心よりお祝い申し上げます。

## 新入会員ご紹介

(5月16日、第310回理事会で承認されました。)

### 正会員

#### 亀岡 電子(株)

社長 川 勝 洋

〒621-0834 京都府亀岡市篠町広田1-25-5  
TEL.0771-24-6612 FAX.0771-24-7894  
業 種：自動制御装置、センサの開発、製造、販売



#### (株) 聖護院ハッ橋 総本店

専務取締役 鈴 鹿 可奈子

〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町6  
TEL.075-761-5151 FAX.075-771-2114  
業 種：ハッ橋製造・販売



#### 大成 建設(株) 京都支店

支店長 西 谷 昭一郎

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町79  
ヤサカ四條烏丸ビル4階  
TEL.075-252-1131 FAX.075-256-1055  
業 種：総合建設業

### KIG

### ゴルフ同好会 (KIG) だより

▶平成29年度第2回例会（第218回例会）結果  
と き：平成29年6月16日（金）  
ところ：蒲生ゴルフ倶楽部  
参加者：16名（内 シニア5名）

優 勝 畑 豊氏 (株)三煌産業)  
準優勝 田中 光一氏 (田中精工(株))  
3 位 有馬 透氏 ((公社)京都工業会)  
B G 賞 鈴木 明廣氏 (株)鈴木メンテナンス)



いつでも、あなたの  
ビジネスのそばに。



### 京都中央信用金庫

本店／京都市下京区四条通烏丸西入ル

TEL 075-223-2525

FAX 0120-201-580 (フリーダイヤル)

URL [www.chushin.co.jp](http://www.chushin.co.jp)

### 賛助会員

#### 近畿日本ツーリスト(株) 京都支店

支店長 鈴 木 国 雄

〒604-8186 京都市中京区車屋町通御池下ル梅屋町358  
TEL.075-221-7401 FAX.075-223-5192  
業 種：旅行業



ゆたかなコミュニティを求めて

コミュニティ・バンク 京都信用金庫は  
地域の皆様とともに歩んでまいります  
これからもよろしくお願いいたします



京都信用金庫

<http://www.kyoto-shinkin.co.jp/>



# 働き方改革の推進について

京都労働局長 高井 吉昭



京都工業会会員の皆様には、日頃から労働行政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢化が進み、労働力人口が減少する中で、誰もが活躍できる「一億総活躍社会」の実現が求められています。その最大の「鍵」となるのが、国の最重点課題に位置付けられている「働き方改革」です。本年3月28日には「働き方改革実行計画」が策定され、「同一労働同一賃金」や「時間外労働の上限規制」等の法制化も視野に入れたロードマップが示されたところです。

京都の雇用情勢については、有効求人倍率が1.5倍を超え、昭和48年以来の高水準となっている一方で、業種や地域を問わず深刻な人手不足の状況が生じています。

また、週60時間以上勤務（過労死の労災認定基準に相当する水準）する労働者の割合は男性では19%に上り（全国平均15.8%）、人手不足による負担増が正社員へ転嫁され、それによる健康障害が危惧されています。

その一方で、非正規労働者の割合は4割に上り、望んでも正社員になれない人や、時間や勤務地の制約など様々な事情で非正規労働を選ばざるを得ない人も多数存在しています。

さらに女性の雇用に目を向けると、女性の正社員の割合は全国平均よりも低く、加えて管理職登用も思うように進んでいません。

「働き方改革」は、こうした歪みをなくし、誰もが働きやすくその能力を最大限発揮できる雇用環境を整えて、生産性の向上や企業・経済の成長をめざす取組です。

京都労働局では「長時間労働の削減」、「女性の活躍促進」、「非正規労働者の待遇改善」を3つの柱とし、府内における働き方改革推進に取り組んでおります。皆様方におかれても、自社の働き方の実態を把握することから取組を始めていただければと思います。

そのためには、まずは、経営トップの方が働き方の見直しに向けた方針を明確にし、管理職の方々としっかと意識共有を行い、会社全体で取組を進めていただくことが大切です。

具体的には、「長時間労働の削減」では、労働時間や休暇の実態把握と課題分析を行い、それを踏まえて適正な人員配置を含む業務改善や、職場の意識改革を行う必要があります。また、長時間労働の削減により賃金減少

が生じないよう生産性の向上を図ることは必須ですが、併せて、賃金制度を含む労働条件等の整備を進めることにより、長時間労働削減への道筋を立てていただきたいと思います。

次に、「女性の活躍促進」では、女性活躍推進法の枠組みに沿って、自社の女性の採用、昇進・昇格等に関する実態把握や課題分析を行い、それを踏まえて具体的な目標を立て、職場全体の意識改革や、雇用管理の見直し等を計画的に進める必要があります。

さらに、「非正規労働者の正社員転換・待遇改善」では、多様な正社員制度の導入の検討も重要となります。勤務地・職種限定正社員や短時間正社員等、ライフスタイルに合わせた働き方の選択は、人手不足が厳しい中で、労働者のニーズとマッチングすることで人材確保に寄与する可能性も高まります。

また、平成30年4月から、労働契約法に基づく「無期転換ルール」が本格化します。有期労働契約が5年を超えて反復更新された場合には、労働者からの申し込みにより、期間の定めのない労働契約に転換しなければなりません。働く方にとっては、雇止めの不安等が解消され、安心して能力をいかに発揮できるようになるといえます。

働き方改革は、日本の企業文化、ライフスタイル、これまでの日本の働くということに対する考え方そのものに手を付けていく改革です。

長時間労働は、健康確保だけでなく、仕事と家庭生活との両立を困難にし、少子化の原因や女性のキャリア形成を阻む原因、男性の家庭参加を阻む原因となっています。これを是正することにより、ワークライフバランスが改善し、女性や高齢者も仕事につきやすくなり、労働参加率の向上に結びつきます。

また、男性の育児参加は、女性の就業継続や管理職登用にもつながります。

京都工業会会員の皆様方には、自社の働き方改革の進捗状況を点検いただき、安心、安全、安定的な雇用環境の実現を目指していただきたいと思います。

厚生労働省では、働き方改革に関して先進的な取り組み事例等を収集し、厚生労働省ポータルサイトに掲載しておりますので、これらも参考にいただき、ぜひ、積極的な取組を進めていただきますようお願い申し上げます。

## 京都工業会「女性活躍推進懇話会」参加企業における 女性が輝く☆ 企業の取り組み 事例紹介5

株式会社SCREENホールディングス  
秘書室 グループ広報チーム 主事 岩本 花子

株式会社SCREENホールディングス  
京都市上京区堀川通寺之内上る四丁目天神北町1番地の1  
社長：垣内永次 設立：1943年  
資本金：540億円 従業員数：5,422名（連結）  
半導体機器事業、グラフィックアーツ機器事業、  
ディスプレイ製造装置および成膜装置事業、プリ  
ント基板関連機器事業、ICTソリューション事業

SCREENグループでは、働きやすい環境のさらなる整備と人材育成に積極的に取り組み、ディーセント・ワーク（Decent Work：働き甲斐のある人間らしい仕事）の実現を目指しています。

### ◆SCREENの後進を育てる風土

当社は昨年度、経営方針の一つの柱でもある人材育成に関し、求められる人材像や方針を定義した「中長期的観点に基づく人材育成プラン『基本理念』」を制定しました。また、それに基づく、教育プログラム、制度や施策を、ガイドブックなどにより具体的に分かりやすく示すことで、役員や従業員が一体となり、後進を育てる風土を醸成し、多様な人材の育成を、中長期的、継続的に推進しています。

### ◆多様な人材が能力を発揮できる制度や環境

女性に限らず、多様な従業員が安心して働くことができる職場環境を整えていきたいと考えています。

子育て中の従業員には、育児休職や育児短時間勤務、子の看護・介護休職制度などに加え、新たな制度・施策が導入されました。早期復職に伴う保育費用の負担軽減のため「保育所費用補助金給付」の新設、子どもの急なアクシデント発生時などでも自宅で仕事ができる「部分在宅勤務」、コアタイム欠業とならない「フレックスタイム育児特別運用」、育児休職中の自己啓発、復職支援のための育児休職者向けWEBサービスの導入です。

介護家族を抱える従業員には、「情報提供の強化」として社内制度や公的サービスの仕組みを周知させ、「教育による風土醸成」として周りの従業員の理解を促す教育を進めるとともに、「介護に関する相談窓口」を設置しました。

さらに、転勤が難しい従業員の勤務地を限定する「準総合コース」の導入など、要望の多い制度・施策について順次、導入を進めています。

### ◆安心・安全・健康に働くために

従業員が安心・安全・健康に働き、人材育成が進んでこそ、グループの成長と質の向上につながります。これからの、全従業員がいきいきと活躍し、成長できる制度や環境づくりに取り組んでいきます。



▲「女性従業員の意識改革と活躍のための環境づくり」の様子



▲社外で活躍されている女性リーダーを講師に招いた「ワーキングバイスセミナー」（女性総合職を対象とした意識啓発セミナー）

## 京都工業会 ニュース No.391

2017年8月18日発行

発行 公益社団法人 京都工業会

〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2  
TEL.075(313)0751 FAX.075(313)0755  
URL：http://www.kyokogyo.or.jp  
E-mail：info@kyokogyo.or.jp